

平成 22 年度 第 1 回 荒川地区地域審議会 議事録

1. 開催日時 平成 22 年 6 月 28 日 (月) 15:30~16:50
2. 開催場所 荒川支所 3 階第 1・2 会議室
3. 出席委員 会田健次、松田昭平、山田俊治郎、田島 勉、片岡 弘、信田瑠美子、石山忠一、石山 健、山崎キイ子、渡辺悦子、鈴木 薫
4. 欠席委員 小川 巖
5. 出席職員 平野荒川支所長
相馬企画部長
まちづくり推進室；竹内室長、船山係長
荒川支所地域振興課；小川係長
6. 傍聴者 なし
7. 会議次第 別紙のとおり
8. 会議経過 別紙のとおり

平成 22 年度 第 1 回 荒川地区地域審議会 会議次第

日時 平成 22 年 6 月 28 日 (月) 15:30～

場所 荒川支所 3階第 1・2会議室

1 開 会

2 あいさつ

3 委嘱状交付

4 正副会長選出

5 報 告

(1) 合併市町村基本計画掲載事業の進捗状況等について

(2) 平成 21 年度地域審議会からの意見書について

6 議 事

(1) 今年度の地域審議会の進め方について

7 そ の 他

8 閉 会

荒川地区地域審議会委員名簿

氏 名	所属団体
松田 昭平	荒川地域区長会
山田 俊治郎	荒川商工会
田島 勉	J Aにいがた岩船荒川支店
小川 巖	荒川沿岸土地改良区
片岡 弘	荒川地区文化協会
石山 忠一	荒川地区体育協会
信田 瑠美子	社会福祉協議会荒川支所
渡辺 悦子	荒川地区P T A連絡協議会
会田 健次	元荒川町職員
石山 健	荒川地区老人クラブ連合会
山崎 キイ子	あらかわ婦人会
鈴木 薫	県立坂町病院

会 議 経 過

1. 開会 (15:30)

事務局； 本日は、お忙しい中この地域審議会にお集まりいただきましてありがとうございます。会議に先立ちましてお手元の資料の確認をさせていただきます。

本日配付した資料は、今日の会議次第、合併市町村基本計画掲載事業及び総合計画掲載状況、平成 21 年度荒川地区地域審議会の意見書に対する市方針の 3 種類です。お手元にありますでしょうか。

それでは、ただいまより地域審議会を開会させていただきます。

2. あいさつ

事務局； はじめに平野荒川支所長から開会のあいさつを申し上げます。

支所長； 今日は大変ご多忙にも関わらず、地域審議会の委員をお引き受けいただき、お礼と感謝を申し上げます。

本地域審議会は、合併後の村上市の均衡ある発展と公平なサービスを担保するための重要な会であり、市長の諮問に対して答申をいただく事項のほか、地域の施策等について、市長に対して意見を述べることができる権限を有しております。平成 20 年度は荒川地区のまちづくりの基本的方向について市長に答申していただきました。また、平成 21 年度については、荒川地区の活性化に向けた意見書を作成して市長に提出していただきました。後ほど議事の中でもお願いいたしますが、今年度は「協働のまちづくり」について、皆様のご意見をお聞かせいただきたいと考えております。

全市のまちづくりの方向性を見極めながら、荒川地区の発展のため、ご指導ご鞭撻をいただければありがたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

3. 委嘱状交付

事務局； それでは、次第の 3 番目、委嘱状の交付ということで、支所長から委員の皆様へ委嘱状を交付させていただきます。

【委嘱状交付】

事務局； 本日の次第の裏面に審議会委員の名簿を添付しておりますのでご覧いただきたいと思っております。なお、本日は荒川沿岸土地改良区の小川理事長様が欠席となっております。

昨年度で第 1 期の任期が終了したわけですが、基本的には引き続き委嘱の願

いをいたしました。その中で、今回交代された委員がいらっしゃいますのでご紹介いたします。区長会長の松田昭平様、PTA連絡協議会の渡辺悦子様、社会福祉協議会荒川支所の信田瑠美子様、あらかわ婦人会の山崎キイ子様の4名の皆様です。よろしくお願いいたします。

なお、委嘱のお願いをした際に、地域審議会の設置に関する協議書の写しをお送りしておりますが、その中に「会議は原則として公開で行う」となっておりまして、傍聴も想定されております。また、ホームページ等で会議録・名簿も公開されておりますので、ご了承願います。

4. 正副会長選出

事務局； それでは次第の4番、正副会長の選任に入りたいと思いますが、どのようにしたらよいかお諮りいたします。また、推薦等のご意見がありましたら、お出しいただきたいと思いますが、いかがでしょうか。

委員； 第1期目の流れをよくわかっている会田さんに会長をお願いするのがいいと思います。

事務局； 会長は引き続き会田健次様をお願いしたらどうかというご意見ですが、皆様いかがでしょうか。

委員； 異議なし。

事務局； 異議なしという声がありましたので、改めて拍手でご承認いただきたいと思えます。

一同； 拍手。

ありがとうございます。本地域審議会の会長は会田健次様をお願いすることに決定いたしました。また、副会長については、前回もそうだったと思いますが、会長にご一任したいと考えております。皆様いかがでしょうか。

委員； 異議なし。

事務局； 異議なしということですので、会長にご一任とのことですが、どなたをお願いしたらよろしいでしょうか？

会長； それでは、区長会長の松田委員をお願いしたいと思いますが、いかがですか。

事務局； 副会長は松田委員にというご指名であります、ご異議ありませんでしょうか。

一同； 異議なし。

事務局； 異議なしということですので、副会長は区長会長の松田昭平様をお願いすることに決定いたしました。

それでは会長、副会長は席を移動していただき、あいさつをお願いします。

【正副会長席へ移動、正副会長あいさつ】

5. 報告

事務局； 続きまして次第の5、報告に入ります。報告事項「(1) 合併市町村基本計画掲載事業の進捗状況等について」「(2) 平成21年度地域審議会からの意見書について」説明をいたします。

《資料1と2により説明》

これについて、ご意見、ご質問等ありませんか。

会 長； 確認ですが、合併市町村基本計画に登載されている事業が変更される場合、この地域審議会の意見が必要になりますか。

事務局； その通りです。例えば、合併基本計画に登載されている事業が、財政が厳しくて実施できなくなったなど、変更をする必要が生じた場合は、市長が地域審議会からご意見をいただいて、その後議会の議決を得ることになっています。変更の範囲については法的に定めがなく、一般的には事業費等の修正などではなく、登載された事業を削除する場合はご意見をいただくというやり方をとっている場合が多いです。あとは10年間と定めた基本計画の期間を短縮するなど大きな変更にあたると思います。

会 長； 荒川地区の公共下水道事業について、総合計画では平成24年度までとなっていますが、この計画どおりに終了するのか、期間が伸びるのか、わかるようであれば聞かせてください。

事務局； 総合計画では平成24年度に終わる予定になっています。上水道と一緒に工事を行う関係上、遅れる可能性があるかもしれませんが、現時点では24年度です。

会 長； 資料2について、公共交通システムが実際に導入されるのは平成25年度、26年度位になるのでしょうか。

事務局； 計画については来年の3月までにまとめたいと思っています。この計画が国に認定されて、その後実証実験に入ることになります。全体の計画の内、どの部分を実証実験のエリアとするかは、これから議論していただくことになりますが、早いものは来年からやりたいと思っています。

委 員； 荒川地区の統合保育園事業について、平成22年度からとなっていますが、土地の確保はできているのでしょうか。

事務局； 金屋を除く三つの保育園を統合し、旧坂町病院跡地に統合保育園を建設する計画で新市に引き継ぎました。園児数や子育て支援等の関係も考えますと、当初計画した時と状況が変化してきておりますので、計画どおり病院跡地に建設することが可能かどうか、現在調査をしております。仮に病院跡地では適切でないとなった場合、新しく土地を取得するのではなく、統合される三つの保育園の中で適切な場所を検討することになるかと思えます。

事務局； ほかに何かありませんか。

ないようですので、この件については終了いたします。

6. 議事

会 長； それでは、議事の「今年度の地域審議会の進め方について」議題とします。事務局から説明等ありますか。

事務局； 今年度は本日を含めて4回の会議を予定しております。その中で、市の総合計画に記載されております「市民協働のまちづくり」に来年度から着手していくために、いくつかの基本的な事項について、地域審議会の皆様にご意見をいただきながら、市としての考えを具体化していきたいと考えています。

まず、今回は「協働のまちづくり指針」、「地域組織（地域協議会）のあり方について」、「市としての財政支援の基本的な考え方について」の説明をし、委員の皆様からいろいろご意見を出していただいて、その次の会議で意見の集約をしていくといった形で考えています。

会 長； ただいま事務局から説明がありましたが、「市民協働のまちづくり」について、基本的な項目とか決まりとかあるのでしょうか。

事務局； 「市民協働のまちづくり指針」については昨年度策定しましたが、指針そのものはほかの市町村とも似通っていて大きな違いはありません。具体的に来年度から取り組もうとしていることを次回の会議でお示しして、それに対して荒川地区ではこのようにやったほうがよいというようなことについてご意見をいただきたいと思っています。

一点は地域の皆さんで協議会を作っていただきたいわけですが、その協議会の規模についてご意見をいただきたい。

二点目は、その協議会に対する市からの財政支援についてご意見をいただきたい。大きくはこの二点についてです。

会 長； 来年度に機構改革を予定しているようですが、それに合わせて地域協議会を設置していくということですか。

事務局； 来年度は本庁に自治振興課を作ります。それと同じ機能をもった自治振興室を各支所に作って、そこを起点にして協働のまちづくりについて議論して作り上げていけるような仕組みを考えています。

委 員； 旧荒川町を一つとして協議会を考えるのか、どこからか線引きをしてわけることから検討するということですか。

事務局； そういうことです。委員の言われるように一つとして考えるのか、小学校区で考えるのか、集落ごとで考えるのか、いろいろな想定ができると思います。今後荒川地区のまちづくりのためには、どういう形がいいのかを一から皆様にご審議いただきたいと思っています。

委 員； 各旧市町村でお互いに競争していいものを作り上げようというプレッシャーもかかります。

事務局； いいことだからといって、最初から大成功している例は全国的にほとんどあり

ません。まずやれることからやろうという形で、急がずに地道に皆さんのご理解を得ていくことが基本になっていくと思います。

会 長； 関川村で十数年前に各集落で計画を作って実施していく取り組みがありますが、同じような形でしょうか。

事務局； そうです。関川村は今年初めて財政支援の予算を当初予算に計上したようです。

委 員； 区長と市長との懇談会で自治振興室の件について話が出たときに、支所の職員を減らさないで平等にお願いしたいという意見が出ていました。職員の配置について、何か基準などはありますか。

事務局； 毎年職員数がかかり減ってきています。本庁に集約して効率よく処理できるもの、支所に職員を増やさなければ目的達成ができないものなど、全体人数が減る中で工面していく必要があります。

委 員； 合併を先に行った自治体でうまくいっていないケースについて、例があったら聞かせてください。

事務局； 県内では一番遅い合併ですが、一番広い地域での合併でもありますので、ほかの自治体の例が当てはまらない部分もあります。一番言われるのが佐渡市の例ですが、思い通りに職員の数を減らせていないのが現状のようです。また、新潟市については、財政的な理由から合併の時の計画を修正して問題になっています。

委 員； 福島大学のある先生から佐渡市について調査した話を聞いたのですが、地域を活性化するために大事なものは、住民が共有できるもの、伝統文化だということでした。村上地区では祭があり、気持ちを一つにまとめることができていると思います。荒川の場合、イメージが描けないのですが、文化を大切にしていかないとコミュニティづくりはできないのではないかと感じます。

会 長； ありがとうございます。

ほかにないようであれば、これにつきましては以上で終了します。

7. その他

事務局； それでは、「その他」について皆さんから何かございますか。

ないようでしたら、これで会議を終わりたいと思いますが、閉会にあたりまして会長よりごあいさつをお願いいたします。

会 長； 今日は第1回目の会議ということで皆様にもいろいろとご審議いただきました。次回からはもっと具体的な議論になると思いますが、荒川地区のまちづくりのためにご意見を頂戴したいと考えておりますので、よろしくをお願いいたします。これで本日の地域審議会を終了いたします。ご苦勞様でした。

8. 閉会 (16:50)